

放課後等デイサービス事業所における自己評価（公表）

公表：令和7年2月1日

事業所名 あゆっこ江津

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	1	利用定員と個人プログラムを行うスペースとの関係が適切であるか	4	0	0	・刺激の少ない環境に整えている。 ・一つの部屋を柵で区切ることで二つのスペースができ、活動しやすくなった。	
	2	職員の配置数は適切であるか	3	1	0		事業の内容や定員に対する職員配置は、適切な人数配置になっている。
	3	事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	1	0		建物内の構造が複雑なため、事業所までの道順の案内表示が必要。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	0	0		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	0	0	・提案頂いた意見を改善しようと可能な範囲内で対策を講じた。 ・年に一度、評価をしてもらい、事業の業務改善に努めている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	0	・ホームページで公表している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1	1		第三者による外部評価の実施を検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	1	0	・振替えをして、研修会に参加できるよう工夫している。 ・毎月ミーティングを設けて、事例検討などを行っている。 ・必要な研修には積極的に参加できるよう、日程や体制の調整を行なっている。また、月1のミーティングでも資質向上のための研修を行なっている。	今後も必要な研修には積極的に参加する。また、ミーティングも定期的に行ない、職員の資質向上を図る。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0		
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	0	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	0	・毎週モニタリングをし、スタッフの共通認識をしている。 ・モニタリング時に、職員全員で状況把握、検討をしている。 ・個別プログラムのため、立案は各担当で行なっているが、定期的にチームで内容の検討や困難事例の話し合い、助言等を行なっている。	
	12	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	4	0	0	・それぞれの子どもに合わせた課題を提示し、状況によってステップアップしている。	

適切な支援の提供	13	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	1	3	0	・全員ではないが、見守りやサポートが必要な児に対しては打ち合わせをしている。 ・個別プログラムのため、毎回の活動内容や役割分担はしていないが、来園予定人数や変更等の確認はしている。	職員一人でケースを抱えこまないように、日々の情報共有や定期的な話し合いができるようにしていく。
	14	支援終了後には、職員間でその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	1	0	・困った点や工夫できることをスタッフと試験交換しながら取り組んでいる。 ・決まった時間を設けてはいないが、子どもの様子やその対応、保護者から聞き取った内容について、スタッフ間で共有している。	
	15	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	0	・子どもの活動の様子や保護者との面談内容を記録し、検証・改善につなげている。	
	16	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	0	・毎週モニタリングを行ない、スタッフ間での共通認識をしている。 ・一人の児童に対して、半年毎のモニタリングを行ない、支援の見直しをしている。	
	17	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか	4	0	0		
関係機関や保護者との連携	18	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	0	0	・日頃から様子の分かるスタッフ、または児童発達支援管理責任者が参画している。	
	19	学校との情報共有（学校訪問など就学後のフォロー）を適切に行っているか	4	0	0	・就学前の引き継ぎを行なっている。 ・ニーズに応じて、学校との情報共有を行なっている。	
	20	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	2	0	・派遣型の利用児において、主治医と連携体制を整えている。	
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	0	1		
	22	発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1	0	・発達障害者支援センター主催の研修に参加をしている。	
	23	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	2	1	1		必要に応じて参加をしている。
	24	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	0	・活動後は必ず保護者と話をする機会を設け、活動の様子をお伝えしたり、園や家庭で様子などの話ができるようにしている。	
	25	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	2	1	・ペアトレの支援は行っていないが、保護者との話の中で、困った時の対応等について助言を行なっている。	プログラムとしては実施していないが、保護者からの相談に対して助言などを行っている。

	26	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	0	・重要事項説明書の中で一つ一つ丁寧な説明に努めている。	
	27	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	0	0		
保護者への説明責任等	28	子どもや保護者からの相談や申し入れについて対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	0		
	29	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	1	0	・LINEを始めたため、活動の様子を動画や写真で送っている。 ・事業所からの伝達事項についてはその都度LINEで連絡している。	LINEによる連絡体制は取れているため、今後はLINEや掲示板への掲示を通して、情報発信していけるように検討していく。
	30	個人情報に十分注意しているか	4	0	0		計画書や請求書などの名前が記載してある書類をお渡しする際は、書類を準備する時とお渡しする時の2回、フルネームを確認する。また、ご家族の方と話をする場合は、場所や声の大きさ、個人名を出さないことなどに配慮する。
	31	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	0	0		
	32	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	0	0	・事業所では実施していないが、センターの行事に参加している。	当センターの行事に参加しているが、今現在は感染対策のため、ご家族以外の立ち入りを制限している。
非常時等の対応	33	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	1	0		マニュアルは重要事項説明書に記載しているため、丁寧な説明を行なっていく。
	34	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	4	0	0		毎月避難訓練等を行っており、参加することもある。
	35	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	0	・定期的に研修に参加している。 ・センターで実施している虐待グループ研修に出席している。	今後も定期的に行なわれる研修に参加する。
	36	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	1	0	・当センター全体のヒヤリハット事例集が作成されている。	当センター全体のヒヤリハット事例集が作成されているため、回覧等を行ない、情報の共有を図っていく。